

京都府歯科医師連盟の先生方へ

発行 山田宏よい国後援会

歯科医でない

「歯科議員」の挑戦

参議院議員 山田宏

感染症と歯科の重要性

危機の時こそ、皆さんのお役に立ちたい。私はそんな思いでこの未曾有のコロナ禍に臨んできました。

「マスクがない」「消毒液が足りない」「グローブが」と悲鳴にも似た要請が、いくつかの県連盟から私のところに届き始めた3月以降、「こ



令和2年3月3日 予算委員会



京都府歯科医師連盟 新年互礼会(2020.1.8)にてご挨拶

れは普通のやり方では埒が開かない」と考え、官邸に直談判し経産省・商社ルートで要望のあった医療用品を各県の歯科医師会にお届けしました。危機の時はトップダウンでないといけない。危機の時とはトップダウンでないといけない。私は、私の杉並区長としての経験です。

4月になると、メディア等で歯科の感染リスクの高さがことさら強調され始め、患者の受診抑制が広がってきました。また厚労省歯科保健課から各自自治体への4/6付事務連絡で、「緊急がないと考えられる治療については延期すること」などとして、国も歯科の受診抑制を推奨しているかのように受け取られたことも要因でした。

私は、歯科診療はむしろ感染予防や重症化予防に資するだけでなく、特に高齢者への適切な歯科口腔管理は、誤嚥性肺炎やフレイル予防に不可欠であると、官邸や厚労省に対して主張してきました。

西村コロナ担当大臣には、杉並区長時代に小学校でのブラッシング指導に力を入れた結果、インフルエンザによる学級閉鎖率が半減したとの事実を示して、「うがい、手洗い、マスクの励行」と言う際には必ず「歯磨き」も加えてほしいと訴え、大臣も5/28の衆議院議院運営委員会で「歯磨きも非常に重要」と答弁されました。

そして厚労省歯科保健課長からの各自治体への6/19付「依頼通達」で、「感染症の中にあつても国民の健康の保持・増進のため、歯科疾患の予防や重症化予防の取り組みが重要」として、「感染拡大防止策を適切に実施した上で、歯科保健医療を提供していただくよう」依頼することとなりました。

政府の緊急経済対策をわかりやすく

とは言え、4月以降の患者数の激減により、歯科診療所も大きな痛手を受けています。政府も二次にわたる補正予算で、持続化給付金、雇用調整助成金、実質無利子無担保融資の拡大、診療所での感染予防対策補助(100万円まで)、診療所で働く方々への5万円の慰労金、6ヶ月間の家賃補助などの支援策を実施してきました。

私も、分かりにくい政府の支援策を歯科に絞ってわかりやすくまとめた「新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、診療に影響を受けていらっしゃる先生方へ」と題した冊子を、5回にわたって各県の歯科医師連盟にお届けする一方、補助金や融資などについての個別のご相談にも丁寧に対応し、多くの先生方に喜んでいただいております。

今後何でもご相談していただけたら対応いたしますので、山田宏事務所(03-6550-1205)までお気軽にご連絡下さい。

さらに第二波、第三波に備え、再び必要な医療用品の不足をきたさないよう政府に十分な備蓄を、またワクチン接種が可能になった際に優先対象とされる「医療従事者」の中には当然「歯科医師・歯科衛生士」を含めるよう、西村大臣に要望しています。

骨太の方針2020

今年の「経済財政改革の基本方針(骨太の方針)2020」は、「近年『骨太』がメタボ化している」との指摘もあり、分量が昨年の75頁が35頁と半分以下に削減され、社会保障分野の記述も7頁が2頁と大幅にスリム化されました。

そんな中、2017年以来3年連続拡充されてきた歯科の記述が、今年大幅に削減されるのではないかと危惧感をもって臨みました。「骨太の方針」の記述分量が、翌年度歯科関連予算の増減に関わる可能性があるからです。そこで6月17日午後4時半に、私が座長を務める「歯科口腔医療勉強会」としての「骨太の方針2020」への要望書を、岸信夫、長尾敬両代議士と一緒に安倍総理に直接手渡し、約30分間にわたって「感染症対策の今だからこそ、歯科口腔医療は感染予防や重症化予防、そしてフレイル予防や誤嚥性肺炎予防に重要」との理解を得られるようお話ししました。

その結果、この歯科口腔医療勉強会の総理要望の内容がそのまま「骨太の方針2020」として7月17日に閣議決定され、全体の分量が激減した中でも歯科部分の分量が増加するという結果になりました。

私が当選直後の2016年の10月に設立した「歯科口腔医療勉強会」(現在49名)が、これまでに裏付けされた歯科の重要性についての勉強会をコツコツ積み重ねてきた結果が現れてきていると自負しています。

「歯科口腔保健・歯科保健医療の充実・強化」予算より。平成25年～令和元年は予算ベース、令和2年は予算案。



私と歯科

私の杉並区長時代、赤字が膨らむ国保財政を立て直すために健康づくり政策に力をいれようと考え、当初は「タバコを1日一箱以上吸う人の保険料を上げる」案など、タバコ・酒・運動・食事などに注目した政策を検討しましたが、結局個人の嗜好に行政が踏み込むことは難しく断念しました。

この悩んでいる時に、高橋英登杉並区歯科医師会長(当時)から手渡された香川県国保連合会に調査資料が目が止まり、年一回でも歯科健診を受診している人が未受診の人に比べて年間医療費が約10万円少ないという結果を知りました。そこで私は健康づくり政策としての歯科医療にも重点を置くことにし、全国初の「クリーニング付き歯科健診」を実施、受診率を7%から17%まで伸ばし、また小学校のモデル校を指定して校舎の各フロアに緑やピンクの洗面台を設置し「ブラッシング指導」などに力を入れました。

この経験から私は「国民の健康づくりは口の健康から」が政治信念となり、前回の参議院選挙では「国民皆歯科健診の実現」と「歯科界に正当な評価を」を公約として掲げました。そして安倍総理への歯科についての国会質問で理解を求め、現在政府は歯周疾患検診の実施年齢の細分化の検討を進め、診療報酬は厳しい財源の中でも増加してまいりました。

さらに、昭和40年代からの歯科界の懸案だった「40円ルール」が廃止され、また「骨太の方針」への歯科の記載により歯科関連予算が4年で4億円が16億円と4倍に増加した背景には、歯科口腔医療勉強会の存在が大きかったです。

私の今後の目標

ただ「国民皆歯科健診の実現」や「歯科界への正当な評価」という公約が前進したとは言え、やっと政策の種がまかれ芽が出てきた状況です。今後はこの芽を丁寧に育てていかなければなりません。そこで私の今後の目標は、①「国民皆歯科健診の実現」に向け、「労働安全衛生法」を改正し、一般労働者の健診項目に歯科を加える②

「歯科界への正当な評価」、とりわけ初再診料の医科歯科格差を解消する③口腔がん検診を歯科での実施を実現するなど柱にしつつ、皆さんの要望実現のために先頭に立って頑張っていきたいと思えます。

こうしてこれまで国会議員として頑張ってきましたのも、京都府歯科医師連盟の先生方のお支えがあったことと心から感謝いたしております。母の実家が左京区浄土寺にあり、京都大学で学生時代を過ごしてきた私にとって、京都は第二の故郷です。これからも引き続き吉見会長をはじめ先生方のご教示を賜り、杉並区長や議員としての持ち前の政治行政経験を活かして、日本のため、歯科界のためにしっかりと責任を果たしていく覚悟です。

歯科口腔医療勉強会 開催リスト

開催日	講師	テーマ
第1回 16年11月7日 月曜日	高橋 英登 日本歯科医師連盟 会長	これからの歯科医療の目指すところ
第2回 17年2月13日 月曜日	花田 信弘 鶴見大学歯学部 探索歯学講座 教授	日本人が「むだ死に」し続ける理由
第3回 17年4月10日 月曜日	米山 武義 米山歯科クリニック 医院長	超高齢社会における口腔医療時代の夜明け!!
第4回 17年6月12日 月曜日	菊谷 武 日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック	いつまでも口から食べるために一歯科果たす役割一
第5回 17年9月11日 月曜日	丹沢 秀樹 千葉大学大学院医学研究科 口腔科学講座 教授	これからの医科・歯科医療に関する一考察一口腔機能管理の歩みと意義、多職種連携の重要性、課題と展望一
第6回 17年11月13日 月曜日	鳥山 佳則 東京歯科大学教授(歯科医療管理学) 元厚生労働省医政局歯科保健課長	診療報酬改正に向けて
17年12月13日 水曜日		日本歯科衛生士連盟役員との意見交換会
第7回 18年2月5日 月曜日	深井 穂博 埼玉県歯科医師会 常務理事	歯科医療・口腔保健は社会保障制度の安定化に寄与する
第8回 18年4月2日 月曜日	鳥山 佳則 東京歯科大学教授(歯科医療管理学) 元厚生労働省医政局歯科保健課長	指導・監査関係
第9回 18年5月21日 月曜日	星 旦二 首都大学東京 名誉教授	なぜ、かかりつけ歯科医がいると長生きなのか
第10回 18年10月15日 月曜日	河原 英雄 歯科医師・医学博士	噛み合わせは人生を変える
第11回 18年11月26日 月曜日	齋藤 隆夫 デンソー健康保険組合 常務理事	データDEコラボ健康組合だからできる歯科口腔衛生への取り組み
第12回 19年1月28日 月曜日	小松本 悟 足利赤十字病院 院長	日本における医科歯科連携の現状
第13回 19年3月4日 月曜日	長尾 和宏 長尾クリニック 院長	がんでも認知症でも亡くなるその日まで食べられる理由
第14回 19年5月13日 月曜日	木村 年秀/丸岡 三紗 まんのう町国民健康保険 造田歯科診療所	住民の「得意」を活かせ!〜社会とのつながりで食べる楽しみを支援する〜
第15回 19年10月7日 月曜日	葭原 明弘 新潟大学教授 歯科学総合研究科 口腔生命福祉学専攻	う歯予防の基本 ~新潟でなぜ19年間、日本一むし歯の少ない県を達成できたか フッ化物洗口の取り組みの実際と今後の課題
第16回 19年11月18日 月曜日	落合 邦康 日本大学 教授	ヒトは口から老い、口で逝く〜肺炎、動脈硬化から認知症まで〜
第17回 20年2月3日 月曜日	菅 武雄 鶴見大学歯学部 高齢者歯科学講座 講師	在宅医療における摂食嚥下リハビリテーション
第18回 20年6月8日 月曜日	花田 信弘 鶴見大学歯学部 探索歯学講座 教授	新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」に「層磨き」を: ウイルスに負けない社会をつくるために
第19回 20年9月7日 月曜日	末瀬 一彦 元大阪歯科大学 歯科審美学室教授 日本デンタル歯科学会 理事長 日本歯科技工学会 会長	金パラ合金に依存した保険診療からの脱却を目指して! ~それでもお口に、金属入れますか!~

歯科口腔医療勉強会

番号	役職	衆・参	氏名
1	相談役	衆議院議員	田村 憲久
2	相談役	参議院議員	関口 昌一
3	相談役	参議院議員	島村 大
4	相談役	衆議院議員	渡辺 孝一
5	相談役	前衆議院議員	比嘉 奈津美
6	相談役	衆議院議員	白須賀 貴樹
7	顧問	衆議院議員	岸 信夫
8	座長	参議院議員	山田 宏
9	事務局	衆議院議員	長尾 敬
10		衆議院議員	上野 宏史
11		衆議院議員	大串 正樹
12		衆議院議員	大塚 高司
13		衆議院議員	岡下 昌平
14		衆議院議員	小倉 将信
15		衆議院議員	小田原 潔
16		衆議院議員	鬼木 誠
17		衆議院議員	神田 憲次
18		衆議院議員	木村 弥生
19		衆議院議員	古賀 篤
20		衆議院議員	國場 幸之助
21		衆議院議員	小林 鷹之
22		衆議院議員	斎藤 洋明
23		衆議院議員	佐々木 紀
24		衆議院議員	繁本 護
25		衆議院議員	高橋 ひなこ
26		衆議院議員	田中 英之
27		衆議院議員	田畑 裕明
28		衆議院議員	中谷 真一
29		衆議院議員	根本 幸典
30		衆議院議員	船橋 利実
31		衆議院議員	細田 健一
32		衆議院議員	堀内 詔子
33		衆議院議員	本田 太郎
34		衆議院議員	三ツ林 裕巳
35		衆議院議員	宮澤 博行
36		衆議院議員	宮路 拓馬
37		衆議院議員	山田 賢司
38		衆議院議員	鷺尾 英一郎
39		衆議院議員	和田 義明
40		参議院議員	磯崎 仁彦
41		前参議院議員	井原 巧
42		参議院議員	大野 泰正
43		参議院議員	加田 裕之
44		参議院議員	上月 良祐
45		参議院議員	酒井 庸行
46		参議院議員	末松 信介
47		前参議院議員	中泉 松司
48		参議院議員	丸川 珠代
49		参議院議員	山下 雄平
50		参議院議員	吉川 ゆうみ

2020.9.1 現在 50名

山田宏を先生方の現場の声をお聞かせください。報告会・デンタルミーティング・WEBでの意見交換会に**お呼びください**



京都府歯科医師連盟の先生方とのWEB意見交換会(2020.5.28)

山田宏よい国後援会 **歯科部会**にお入りください!



「骨太方針」2017・2018・2019、そして2020でも更に踏み込んだ内容で、歯科の重要性が記述されました! 次は「生涯を通じた歯科健診」の法制化を目指し、歯科口腔医療の大切さが広く国民に浸透するよう働いてまいります。ぜひ、ご入会いただき山田宏の活動をご支援いただけますようお願い申し上げます。

◀後援会員には会員限定の「ズバリ通信」を年4回お送り致します。

山田宏(やまだひろし)プロフィール 令和2年9月1日現在

参議院議員(自由民主党) 参議院自民党副幹事長 前防衛大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官 所属委員会 予算委員会 外交防衛委員会 沖縄及び北方領土に関する特別委員会(筆頭理事)

昭和33年(1958年)1月8日生まれ(62歳) 京都大学法学部卒業。松下政経塾2期生。東京都議会議員(2期)・衆議院議員(2期)・杉並区長(3期)

山田宏の日々の活動は、ホームページ、フェイスブック、ツイッターでご紹介しています 山田宏公式サイト: www.yamadahiroshi.com 山田宏公式Facebookページ: <https://www.facebook.com/yamadahiroshi.page/> 山田宏公式ツイッター: @yamazogaikuzo

⇒ぜひチェックしてください! お問い合わせはこちらにお願いいたします。 山田宏 国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1205号室 Tel.03-6550-1205 Fax.03-6551-1205